

三鷹市立第五中学校 「いじめ問題対策指針」

・学校全体での取り組み

			生徒に関わること	保護者に関わること
いじめの未然防止に関すること			<p>世の中にはいろいろな考えを持っている人がいることを理解させる。(道徳・特活・総合)</p> <p>自分の考えや行動が全て正しいという考えを持たない。(道徳・特活・総合)</p>	<p>自分の物や他人の物を大切に扱うようにさせる。</p> <p>友達の気持ちを踏みにじったり傷つけることの重大さを話し合う。</p>
いじめの早期発見に関すること			<p>友達がひとりぼっちで行動している時は声をかけてあげる。</p> <p>個人面談やアンケートを実施して情報を収集す</p> <p>下駄箱のクツ・机・椅子・ロッカーなどにいたずらがあったら直ぐに知らせる。</p>	<p>子どもとの会話を一日一回以上行う。</p> <p>カバン・制服などの汚れに気を配る。</p>
いじめの早期対応に関すること	1) 暴力を伴ういじめの場合	いじめられた側	<p>身体的・精神的なダメージについての的確に把握し、迅速な回復を支援する。</p> <p>休み時間や登下校の際も教師による見回りを行い、被害が継続しない体制を整える。</p>	<p>わが子を守り抜く姿勢を生徒に見せ、生徒の話に耳を傾け、事実や心情を聞くように伝える。</p> <p>いじめの問題解決に向けた学校の方針への理解を求め協力してもらう。</p>
		いじめた側	<p>いじめが相手をどれだけ傷つけ苦しんでいるかを気付けさせいじめをやめさせる。</p> <p>他の生徒に危害が及ぶおそれがある場合は、別室で個別にいじめをやめさせる指導を行う。</p> <p>関係諸機関との連携をとる。</p>	<p>学校は、いじめられた生徒を守ることを第一に考えた対応をとることを伝える。</p> <p>事実を冷静に確認し、わが子の言い分を十分に聞くように促す。</p>
	2) 暴力を伴わない場合	いじめられた側	<p>精神的なダメージについての的確に把握し、回復を支援する。</p> <p>休み時間や登下校の際も教師による見回りを行い、被害が継続しない体制を整える。</p>	<p>わが子を守り抜くという姿勢を子どもに見せるように伝える。</p> <p>いじめの問題解決に向けた学校の方針への理解を求め協力してもらう。</p>
		いじめた側	<p>いじめは「絶対に許さない」という毅然とした態度で臨み、事実を確認しいじめをやめさせる。</p> <p>いじめが相手をどれだけ傷つけ苦しんでいるかを気付けさせいじめをやめさせる。</p>	<p>学校は、いじめられた生徒を守ることを第一に考えた対応をとることを伝える。</p> <p>事実を冷静に確認し、わが子の言い分を十分に聞くように促す。</p>
	3) 行為が見えにくいいじめの場合	いじめられた側	<p>つらく苦しい気持ちに共感し、「いじめから全力で守ること」「絶対に守り通すこと」を約束する。</p> <p>精神的なダメージについての的確に把握し、回復を支援する。</p>	<p>わが子を守り抜くという姿勢を子どもに見せるように伝える。</p> <p>いじめの問題解決に向けた学校の方針への理解を求め協力してもらう。</p>
		いじめた側	<p>いじめは「絶対に許さない」という毅然とした態度で臨み、事実を確認しいじめをやめさせる。</p> <p>いじめが相手をどれだけ傷つけ苦しんでいるかを気付けさせいじめをやめさせる。</p>	<p>学校は、いじめられた生徒を守ることを第一に考えた対応をとることを伝える。</p> <p>事実を冷静に確認し、わが子の言い分を十分に聞くように促す。</p>
		直接関係のない者	<p>傍観することはいじめに荷担することと同じであることを考えさせ、いじめられた生徒の苦しみを理解させる。</p> <p>友達の言いなりにならず、自らの意志で行動することの大切さに気付かせる。</p>	<p>いじめに気付いた時、傍観者とならず助ける側の態度をとることができるような心を学校と協力して養うよう依頼する。</p> <p>いじめに対する考え方を理解してもらい、どんな場合でもいじめる側や傍観者にはなってはならないという決意を学校と協力して養っていくよう依頼する。</p>

・地域・家庭との連携

各家庭での取り組み	<p>自分の子供に関心を持ち子供のさびしさやストレスに気付くことのできる親になって下さい。</p> <p>ダメな時は「叱ることのできる親に！」頑張った時は「褒めることのできる親に！」なって下さい。</p> <p>父親の存在が大きく影響しています。母親任せにしないで父親も子育てに参加して下さい。</p>
地域での取り組み	<p>子供たちを地域の子供として育てるという意識を持ち、子供たちに地域から見守られているという安心感を持たせましょう。</p> <p>子供たちと顔見知りになるために、子供たちに出会った時にあいさつや声かけをお願いします。</p> <p>公園や遊び場などで子供が困っている場面を見かけたら声をかけてあげて下さい。</p>